

雲北陵月報

No. 441

令和4年5月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

新チーム、快勝の幕開け!!

卓球部

男子団体 2年連続13回目の優勝(4連覇!)
個人戦 シングルス・ダブルスともに制す!
第69回中国高等学校卓球選手権島根県予選大会
時 4月28~30日
於 鹿島総合体育館

男子団体 優勝
(男子シングルス) 優勝
2位 小野泰和(15北陵)
3位 王翊翔(32西津)
2位 佐藤卓斗(24北陵)
3位 黒田昌秀(15西津)



シングルス優勝の小野泰和

男子ダブルス 優勝
2位 杉浦大和(32北陵)・佐藤卓斗(24北陵)
3位 山本淳史(33北陵)・小川さくら(23西津)
2位 王翊翔・小野泰和 組
3位 王翊翔・小野泰和 組
※県予選を突破したシングルス9名、ダブルス6組が県代表として中国大会に出場。

大会総評

団体戦は出場した選手がそれぞれ持ち味を発揮し、1ゲームも落とさず13回目の優勝を果たすことができた。決して慢心することなく、6月の県高校総体でも完全優勝できるようにチーム一丸となって戦いたい。
(顧問 古瀬泰之)



ダブルス優勝の杉浦(右)・佐藤組

第18回出雲市オープン卓球大会

時 5月1日
於 カミアリーナ

男子団体 優勝
出雲北陵A
(杉浦・王・佐藤・小野)
2位 出雲北陵B
(山本・小川・黒田昌・濱田)

男子シングルス 優勝
佐藤卓斗
2位 小野泰和
3位 山本淳史、濱田都希(1北陵)

大会総評
コンディションは決まっている状態ではなかったが、中国高校選手権県予選に続いて団体・個人ともに優勝することができた。県高校総体に向けて、チームのムードを高まってきた。コンディションを整えて県総体に臨みたい。
(顧問 古瀬泰之)

男子ソフトテニス部

ハイスクールジャパンカップ出場権獲得
ソフトテニス県高校シングルス大会
時 4月16日
於 浜山公園テニスコート

2位 陰山晃成(32西津)
大会総評
惜敗し準優勝となったが、3年生らしく粘りのある試合ができ、



今後に繋がる大会となった。この結果、6月に北海道で開催されるハイスクールジャパンカップへの出場権を獲得した。
(顧問 佐々木雄志)

ソフトテニス中国大会県予選

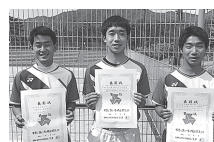
時 4月22~24日
於 浜山公園テニスコート

男子団体 3位
【団体メンバー】(木村蔵人、岩崎遥平、川角悠太、青木快生、高橋拓真、陰山晃成、原 優翔、堀江結太)

2位 川角悠太(31北陵)・青木快生(34西津)
ベスト8 木村蔵人(32北陵)・岩崎遥平(35西津)
ベスト16 高橋拓真(33北陵)・陰山晃成(34西津)

ベスト32 原 優翔(31北陵)・堀江結太(24西津)
江角虎哲(32西津)・高宮颯太(31北陵)
神在俊輔(32西津)・梶野 翔(34西津)

大会総評
県総体のシード権を決める大切な試合であったが、団体、個人とも悔しい結果となった。総体までの残りの期間を大切に、しっかりと精進したい。
(顧問 佐々木雄志)



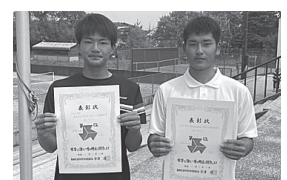
大会総評
県総体のシード権を決める大切な試合であったが、団体、個人とも悔しい結果となった。総体までの残りの期間を大切に、しっかりと精進したい。
(顧問 佐々木雄志)

テニス部

ダブルス2位、シングルスベスト8!
県高校個人テニス選手権大会
時 4月23・24日
於 松江総合運動公園

男子ダブルス 2位 石川泰丞(32北陵)・土江裕貴(31北陵)
男子シングルス ベスト8 石川泰丞
女子ダブルス 1位 回戦敗退
女子シングルス 1位 回戦敗退

大会総評
男女とも有望な新入生の多い今大会で、



ダブルス2位の石川・土江組

男子は個人戦及び団体戦のシード権を獲得することができた。女子は勝てなかったが、県総体では結果を出している。ものと思っている。
(顧問 石川剛亘)

陸上競技部

玉木涼舜 三段跳で8位入賞
第105回全山陰陸上競技大会
時 4月16・17日
於 松江総合運動公園

玉木涼舜(34西津) 三段跳 8位

第76回出雲陸上競技大会
時 4月23・24日
於 浜山公園陸上競技場

梶谷匠千華(23西津) 走高跳 4位
藤原 成(22西津) やり投 5位
小村健晴(24西津) 棒高跳 8位
4x100m R 5位
玉木涼舜・原田律紀(21北陵)・田中 陸(31西津)・東原 舜(25西津)
4x400m R 5位
田中 陸・原田律紀・原田湜大(24西津)・東原 舜

玉木涼舜 三段跳 7位
藤原 成 やり投 8位

大会総評
春の三大会を終え、自己記録も数多く更新した。27名の部員を引っ張る主将の玉木が好調である。三大会とも一般選手と競いながら、県選手権では2名が入賞し、中国大会出場権を獲得した。県高校総体に向けて一層頑張っていきたい。
(顧問 別所美喜子)

玉木涼舜 三段跳 7位
藤原 成 やり投 8位

大会総評
春の三大会を終え、自己記録も数多く更新した。27名の部員を引っ張る主将の玉木が好調である。三大会とも一般選手と競いながら、県選手権では2名が入賞し、中国大会出場権を獲得した。県高校総体に向けて一層頑張っていきたい。
(顧問 別所美喜子)

玉木涼舜 三段跳 7位
藤原 成 やり投 8位

大会総評
春の三大会を終え、自己記録も数多く更新した。27名の部員を引っ張る主将の玉木が好調である。三大会とも一般選手と競いながら、県選手権では2名が入賞し、中国大会出場権を獲得した。県高校総体に向けて一層頑張っていきたい。
(顧問 別所美喜子)

玉木涼舜 三段跳 7位
藤原 成 やり投 8位

野球部

島根県高等学校春季野球大会中部地区予選

時 4月15日
於 浜山球場

出雲	1013003000
本校	0002010000
投手・川上快・太田	3
捕手・門脇	8
二塁打・門脇	

今大会は、初戦で出雲高校と対戦し、悔しい結果に終わった。選手達は懸命な姿で野球に取り組んだが、勝利を手にする事ができなかった。思うように練習ができない日々が続いたが、今大会が無事に開催されたことには喜びを感じている。今後は夏の大会へ向けて、多くの課題を克服しながら、出雲北陵の野球に磨きをかけていきたい。当日は平日にも関わらず、多数の方々に球場に足を運んでいただき、有難うございました。

(顧問 畑 宗一郎)

合唱部

出雲南ロータリークラブ創立50周年記念式典

時 4月17日

於 出雲ロイヤルホテル



4月17日、出雲南ロータリークラブ創立50周年記念式典で演奏させていただきました。このステージが合唱部にとって、今年度初めての本番ステージとなった。多くの来賓の皆様の前でポップス2曲を披露した。新体制になってから間もなく、十分な練習ができていない中での本番であったが、生徒達はのびのびと歌いきり、盛大な拍手やあたたかい激励の言葉をいただいた。人前で演奏させていたただく機会は、生徒達を大きく成長させることをあらためて実感した。夏のコンクールに向けて、さらに練習の質を上げていきたい。

(顧問 布野浩志)

吹奏楽部

第26回吹奏楽部定期演奏会

時 5月7日

昼の部：14時開演
夜の部：18時30分開演

於 出雲市民会館大ホール

26回目となる吹奏楽部定期演奏会を開催した。本県では新型コロナウイルス感染症に歯止めがからず、開催も危ぶまれたが、会場の感染症対策に配慮し、人数制限、演奏時間など、企画段階から保護者の方々と綿密な打ち合わせを行い、万全の体制で本番に臨んだ。昼の部・夜の部と2回公演を行い、延べ1000名を超えるお客様をお迎えし、会場が一体となるコンサートとなった。

スペシャルゲストには、トランペット奏者の白石実氏をお招きした。観客を魅了する美しい音色と卓越した技術、色彩豊かな音楽表現に観客は大いに盛り上がり、共演をした部員達にとっても大変貴重な経験となった。

この演奏会を開催することができたのも、地域の方々や保護者会の方々の支えがあつてのことであり、部員一同感謝するとともに、今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらぬ精進していき



出雲青年会議所 創立65周年記念式典

時 5月15日
於 出雲市民会館大ホール



標記式典の記念公演に出演させていただいた。出雲商業高校書道部の書道パフォーマンス、アウトクラウドエントーティメントのダンスパフォーマンスも披露され、創立65周年を祝う見ごたえのある記念公演となった。

(副顧問 竹内康貴)

一斉書写

時 4月19日

本校の恒例行事である「一斉書写」を実施した。これは集中力を養い、日常の落ち着きや授業に臨む心構えを整えることを目的としている。入学して間もない一年生もしっかりと取り組むことができおり、緊張感のある雰囲気の中、貴重な時間を過ごした。

春季野外活動

時 4月25日

於 しまね海洋館アクアス

4月25日、3年生にとって入学以来初めてとなる野外活動として「しまね海洋館アクアス」を訪れた。

当初雨も心配されていたが、当日は絶好の野外活動日和となった。コロナ感染症対策を心がけていたものの、目に見えないウイルスとの戦いでもあったため一抹の不安もあった。

クラスの仲間達と同じ時間を共有できたことはとても貴重な体験、思い出に



なったことだろうと喜んでいる。今後は進路決定に向けてクラスで一丸となつて突き進んでいってほしい。

(3年主任 黒崎 勉)

高校3年除草作業・教職員奉仕作業実施

4月20日6限目に
高校3年生が校地内の
除草作業を行った。

また、4月28日、

5月11日の放課後には
教職員奉仕作業を
実施し、校地内及び

校地外周の溝掃除や道路脇の除草作業などを行った。コロナ禍ということもあり、いずれも短時間の作業ではあったが、安全で気持ちの良い環境づくりのために皆が意欲的に取り組んだ。

**高校生徒総会開催**

時 5月12日

於 視聴覚教室(ライブ配信)

今年度の生徒総会はコロナ禍のため、ライブ配信での開催となった。原田惺士朗生徒会長のもと、生徒会執行部並びに専門部から今年度の活動について提案があった。スローガンは「Cherish this moment」。



「いかなるときも全力で」で、今を生きることを大切に、その一秒一秒を全力で生きるという、コロナ禍を意識したものとなった。色々と制約がかかる学校生活となるが、皆で力を合わせて、活気ある生徒会を創造してくれることを期待している。

中学校

野球部

全日本少年軟式野球大会出雲支部予選

時 4月16日
於 湖陵球場

一回戦 本校 2-5 大社中

出雲部中学校春季野球大会

時 4月29日
於 湖陵球場

一回戦 本校 1-3 出雲一中

第49回出雲地区中学校野球大会

時 5月10日
於 浜山球場

一回戦 本校 1-2 西郷中

○大会総評

この三大大会ともコロナ禍の影響で、練習や試合経験を十分積むことなく臨むこととなり、結果を残すことができなかった。残るは市総体。県総体出場を目指して頑張りたい。

(顧問 手銭修司)

テニス部

全国中学生テニス選手権県予選

時 5月7日
於 松江総合運動公園

〈男子シングルス〉

2回戦敗退

〈女子ダブルス〉

1回戦敗退

○大会総評

中学2年生となり、初めての公式戦出場であった。同世代と戦う独特の緊張感を味わえたのは良かったと思う。今後の練習に生かして欲しい。

(顧問 石川剛亘)

卓球部

第45回島根県中学生卓球選手権大会

時 5月1日
於 松江総合体育館

〈男子団体〉2位

決勝 本校 1-3 松徳学院

〈男子個人〉

ベスト8 波多間怜偉(中龍王)

松崎 優樹(中龍王)

○大会総評

2年生の成長が必要不可欠である。夏の総体に向けて頑張らせた。

(顧問 相場翔太)

第1回合同道徳

時 5月9日

於 北陵ホール

講師 菅田修司副校長



5月9日7限に、菅田副校長先生による合同道徳が行われた。「自分」と向き合っていくことや夢を持つ大切さをお話いただき、全校生徒が真剣な表情で聞き入っていた。

【生徒の感想】

「自分を大切に」というテーマに対して思ったことは、自分を好きでいるようになりたいということでした。自分の人生の主人公は自分なので、自分に責任を持ち、良い人間性を作っていくことを目指して生きていきたいと思いました。その中では辛いことや苦しいことなどたくさんあると思います。しかし、その辛さや苦しさを乗り越えていくには自分の力が必要です。これからは自分の弱さから逃げずに、弱さに勝てるくらいの気持ちを持ちたいと思いました。常に夢や目標を持つ人になりたいです。そのためには現状をよく理解して、自分で良い種をまいて育てるようにしたいです。夢を持つだけでなく、それを達成する努力ができるように人生を大切にしていきます。

(三好蒼空(中龍))

春季野外活動



時 4月20日
於 愛宕山公園

本校恒例の春季野外活動を実施した。

今年度、中学生は愛宕山公園へ出かけた。近所にお住まいの方々にも声を掛けていただきながら、ゴールを目指して歩いた。中学校1年生にとっては初めての経験で苦しかった時もあったようだが、友人と励ましあい、中学生全員が完歩できた。



この経験をこれからの中学校生活に生かして欲しいと思う。

中学校生徒総会開催

5月12日、生徒総会が行われた。今年度は昨年と異なり、全校がホールに集まる開催で、お互いの顔を見ながら直接話し合う機会を持つことができた。生徒会執行部と各専門委員会の目標と活動内容を発表し、達成したい理想の学校像を共有することができた。荒瀬翼生徒会長は「日本一の学校を目指して一緒に頑張りたい」と力強く話した。生徒全員で、活気あるよい良い出雲北陵中学校を作ってくれたいことを期待したい。



授業参観・保護者会総会開催

時 5月13日
於 北陵ホール他

5時間目に授業参観、6時間目には保護者会研修を行い、続いての総会では、昨年度の事業及び決算の報告、今年度の役員選出及び事業計画と予算案の審議がなされ、すべて承認された。

本年度保護者会新役員の皆様は次の通り。

会長 藤原 祐樹 様(2年)
副会長 高橋 英樹 様(3年)
副会長 岩崎 圭 様(2年)
監事 ロバートシヴィキング 様(3年)
監事 北野 謙治 様(2年)

生活安全教室兼保護者会研修

時 5月13日
於 北陵ホール他



生活安全教室「ネットモラル教室」を、出雲警察署生活安全課少年補導職員 福岡宏美様、梅山明日香様を講師としてお招きし実施した。スマートフォンを使用する際の注意事項や家庭でのルール作りの大切さ、そして、SNS利用の危険性を改めて知ることができた。生徒の感想の中にも「スマートフォンの使い方を気をつけたい」、「写真に位置情報が残ることをはじめて知った」、「誹謗や中傷は絶対にしてはいけない」と改めて思ったなど、情報社会を生きていくうえで大切な心構えを確認する内容が多く見られ、大変有意義な研修となった。

作品と研究

「野外活動に参加して」

今年度の野外活動は、活動の場を分散した新たな形で実施しました。中学生は愛宕山公園、高校1、2年生は浜山公園、3年生はしまね海洋館アクアスにそれぞれ出かけました。活動を通じた感想を紹介します。

錦織 初(中3) 豊

私は、今回の野外活動は、交通手段について考えるきっかけになりました。何キロもの道のりを徒歩で歩くのは正直厳しく、何度も自分の前に続く道のりを見ては、溜息をつくことの繰り返しでした。

帰りは行きに比べて足取りも重く、一層目的地が遠く感じました。「自転車があれば」ふいにこんな考えが頭に浮かびました。自転車であれば、ハンドルを握り、座ったままで少し足を動かすだけで、徒歩の何倍もの速さで進むことができました。私は自転車で行くのがあまり好きではありません。特に、漕いでも漕いでも進まないような向かい風の日などには、車で行きたいと思ってしまいます。しかし、野外活動の時はただ足を休めたいという一心でした。毎日見る景色が普段よりゆっくりに過ぎていきます。ゆっくり過ぎていくことにより、「こんなところにスミレが咲いていたんだ」「木に花が咲いている」といった今まで気が付かなかった発見もありました。その時に、徒歩で歩くことで得られる小さな喜びや思いやりもあると感じました。そうこうしているうちに、学

校が見えて小さかった学校がどんどん大きくなり、やっと着きました。強い日差しに当たって、多少の疲れはありましたが、達成感が上回っていました。

家に向かう車の中から、今日歩いて通った道が見えました。車で送迎してくれる親には感謝をしています。が、これからはなるべく自転車で通うようにしたいです。

永島 蒼生(小6)

四月の野外活動に参加して思ったことは、とても親睦が深まったということ。私は、初めにこの活動の話を聞いたとき大変楽しみに思い、早く行きたいと思いました。しかし先生の口から出た言葉、「片道二時間」という衝撃的な言葉で絶望に変わりました。私は今まで最高に長く歩いたのが十五キロだったので心配でしょうがありませんでした。

そして当日、出発後はまだ楽しく近くの人と話しながら歩いていました。十キロくらい歩いてから、足が痛くなりました。あと三分の一、到着してもまたこの道を歩いて帰るのかと思うと憂鬱でした。しかし、浜山公園に到着してからは友人と楽しく過ごすことができました。休憩はそう長くなかったので、帰りはもうへとへとでした。

収穫としては、足に気を取られながらも新しい友達とたくさん話をすることができたことでした。と同時に現在の自分には体力がないなと感じました。これから普段の生活や体育の授業を通して体力をつけ、来年は、今より互いのことを知っている仲間と楽しく活動ができることを信じて日々を過ごしたいと思いました。

多久和夢萌(小5)

私は、今回が初めての野外活動でした。約十五キロメートルを歩き続けたのは、もしかしたら人生で初めてだったかもしれません。当日は天気も良く、歩き始めてすぐに出雲の山々の色とりどりのたくさんの緑が見えてきて、とてもすがすがしい気持ちになりました。歩き続けていくと、だんだん気温が上がり、とても暑くなりました。そんな中、たくさん地域のの方々に出会いました。私達が、「こんにちは」と挨拶すると笑顔で返してくださったり、中には「浜山までいくの？頑張つてね。」と言ってくださったりする方もいて、地域の方々の温かさを感じることができ、とても温かな気持ちになりました。

そして、ついに浜山公園に到着しました。小学生の時に以来だったので、とても懐かしく、みんなで弁当を食べたり、遊んだりしてたくさん思い出を作ることができ、とても充実した一日となりました。

この活動を通して、あきらめないことの大切さや、出雲の自然、地域の方々の温かさを改めて感じる事ができました。これからもできないことがあってもあきらめず、一歩一歩進み続けて目標に向かって頑張りたいです。今回の達成感や、温かな気持ちや心に抱いて、日々の部活動や生活にも生かしていけるように励んでいきたいと思っています。

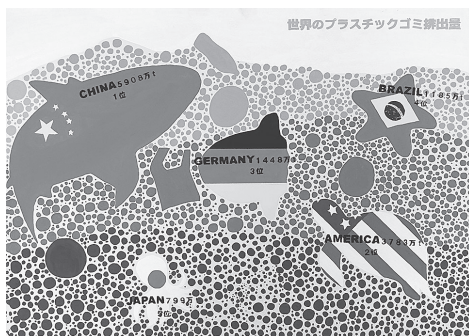
矢田 鈴(小3)

私は最初は最後の野外活動でアクアスに行きました。行き先がアクアスと決まっていたのでワクワクが止まりませんでした。そのおかげで、行く日までの学校生活は毎日いつも以

上に頑張ることができました。

当日は、快晴で風も心地よくとても気分が良かったです。バスの中では、友達と話をしたり写真を撮ったりしました。高校生活の中でこういう時間は初めてだったのですごく楽しかったです。アクアスに到着してからは色々な魚を見たり、白イルカを見たりしました。ヒトデも触りました。ここでも友達とたくさん話して、たくさん写真を撮り、皆との思い出をたくさん作ることができました。

私は、コロナ禍により、一、二年生の時の野外活動は中止になった学年です。さらに、一、二年次に予定されていた研修旅行も中止になりました。楽しみにしていたたくさんさんの行事は中止や制限がかかり、気付けば勉強とテストしか思い出がありません。しかし、今回の野外活動が高校時代の思い出を再び作るきっかけとなりました。まだ、アクアスの余韻に浸っています。これから、「進路・進路・進路」という感じになります。友達とも励まし合いながら目標に向かって頑張りたいと思います。



今月の1枚 「プラスチックごみ」 百合澤瑠偉 (小6)